

はぐくむ光のびる若芽

225

富下 加瀬 正子

我が家は実由希(中一)、利幸(小5)、真弓(小2)、両親、祖母そして犬のチャチャの6人と1匹の家族です。「6時だよ、起きろー!」の私の怒鳴り声が我が家の一日の始まり。朝の犬の散歩は子ども達の仕事。食事して支度してケチをして、戦争のような光景です。

実由希は本が大好きなのんびり屋さんですが、バレーを習っていたお陰かスポーツも好きなようです。利幸は、野球にミニバスにと頑張っています。ばあちゃん子で優しい気持ちを持っている子です。真弓は、未っ子らしく甘えんぼうの世渡り上手。寝ている時以外はお口の休む暇もない想像力豊かなおしゃべりさんです。《三人三様》正にその通りの我が家の子ども達。共働きですが、学校から帰った時「お帰り」と暖かく迎えてくれるお

ばあちゃんのお陰で、淋しい思いも少なくのびのびと育ってくれました。

私の子育てというところ、
「ダメなことはダメ」「やりたい事、好きな事のために努力しなさい!」等々朝から晩まで怒鳴り声：主人に

組むよつにしたいと思っています。ちなみに主人は「食事は家族揃って一緒に!」と常日「こう言っています。」

てんやわんやのドタバタ子育てではありませんが、子ども達へ「素直で元気に、そして自分の行動や言葉に責任を持ち、人と

人として強くやさしく育って欲しい



して強くやさしく育って欲しい」と願っている欲張りな母です。社会の中で一人で立った時、自分身の足で力強く立てる子に育って欲しいと思つたので…。

は私がよく叱られます。毎日が試行錯誤の中で、何が正しいとか、どうするべきだとか、一律には決められず手探りの状態です。一人ひとり個性があり、環境・状況全てが一時一時違つるので、その時々我真剣に取り

未熟な子育てが一人前になるのは、我が子達が一人前と認められる日でしょうか? その日に向かって、今日も未熟な母は声を張り上げ、駆けずり回っています。

長寿の秘訣

飯島さんは8月号でご紹介した平野定さんと一緒にゲートボールをされており、全国大会に出場した仲間です。

長寿の秘訣は「物事にくよくよしないこと」と「好きなことをしていること」と話されていましたのでご紹介します。

シリーズ⑤7
今月の顔飯島 國雄 さん(83歳)
(芝 崎)

の作品展に出品しています。写真から金閣寺の構造を考え、組み立てていく作業の難しさは計り知れませんが、家にはいくつかの作品が飾られていたが、素晴らしい作品とそれを覆っているガラスケースのすべてが手作りという事で、驚きの連続でした。

◎趣味の写真

写真は30歳頃から撮り始め、試合の時や旅行に行った時に風景や人物を撮り続けてきました。友人に写真を焼き増ししてあげるととても喜ばれ嬉しい、と話されていました。

現在は元気に活躍されている飯島さんですが、79歳の時に心筋梗塞になり手術をしたこともありましたが、今は定期的に受診され、経過は順調だそうです。物事にくよくよせず、毎日社交的に人と接し、人生を楽しんでおられる飯島さんの生活そのものが、長寿につながっていることを実感しました。これからも、素晴らしい作品を見せてくださいな。

(保健師 大竹)

◎スポーツを楽しむ

16歳から野球を50年間続け、その他、72歳でソフトボールを始め、ゲートボールは60歳過ぎから現在まで続けています。

日曜日以外は毎日ゲートボールをしており、誰よりも早くゲートボール場に出

◎工作の腕前

若い頃は日本刺繍の職人で、着物や帯の刺繍をしてきたこともあり、今でもズボンのすそ上げなど針仕事は全部自分でされています。このように器用な飯島さんは、工作でもその才能を発揮し、平成3年には、写真を見ながら木で金閣寺を作り、県の作品展で美術館長賞を受賞したほどの腕前です。今でも毎年老人クラブ